

解禁日：5月18日（月）午前10時

令和2年5月13日（水）
連絡先：全国応援村実行委員会事務局
（担当：池上）
e-mail: contact-form@ouen-mura.com

「コロナと闘う応援村」公民連携プロジェクトの開始について

政府は、今月14日『特定警戒都道府県』の一部とそれ以外の34県全てで緊急事態宣言を解除する方向で検討を始めた。この動きを受けて、公民連携で「コロナと闘う応援村」プロジェクトを開始いたします。

(1) 「コロナと闘う応援村」発足の経緯等

「応援村 OUEN-MURA」が生まれ、僅か半年の間で、私たちの生活は一変しました。未だ有効な薬やワクチンが存在しない新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めるために、人と人が出逢うどころか接触の機会を減らすことが求められ、人の移動や経済活動の制限、その他様々な行動における急速な変容が必要とされております。

先の見えない不安や新型コロナウイルスに対する恐怖が世界中を覆い尽くす中、感染リスクと隣り合わせで働く医療・福祉等従事者や、物流など社会機能の維持に必須とされる職業に従事する人々に対する差別や偏見が広がっているという指摘があります。そしてそれは、本人のみならずその家族に対しても同様であり、こうした風潮の中で、新型コロナウイルスに感染した著名人などが「謝罪」を行う事例もみられているとの報告もあります（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月22日））。

令和2年3月23日、東京オリンピック・パラリンピック延期発表の前日、全国応援村実行委員会委員の中から、「応援村 OUEN-MURA」の原点に立ち返り、新たに「コロナと闘う応援村」を立ち上げようという動きが起きました（新ガイドライン第5章参照）。

この度、全国各地の様々な地域で懸命に生きる人たちを応援し、地域活性化・コミュニティの再生（人を孤独にしない）という応援村の社会的使命と役割を果たすため、「コロナと闘う応援村」実行委員会を組成し、具体的な取組を開始することとなりました。

※共同発起人による宣言文【別紙1】

※オリパラ開催中の「応援村」については、3月末をもって一時活動休止。来年（2021年）1月、活動再開予定。

(2) 事業主体

「コロナと闘う応援村」実行委員会（33名）【別紙2】

- 実行委員長：鈴木康友 浜松市長 / 実行委員長代理：鈴木英敬 三重県知事
- 実行委員：松任谷正隆 氏、小山薫堂 氏、出口治明 立命館アジア太平洋大学（APU）学長、長谷部健 渋谷区長、高島宗一郎 福岡市長 ほか

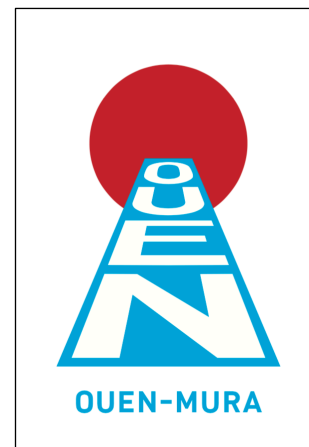
(3) 新ロゴマーク（右枠内）

株式会社ビームスのデザイナーによるデザイン（12 作品）の中から、下記審査員が審査を行い決定。

※株式会社ビームス <https://www.beams.co.jp>

● ロゴマーク審査員（順不同・敬称略）

小山薫堂（放送作家）、松任谷正隆（音楽プロデューサー）、
ハービー・山口（写真家）、小宮山雄飛（ホフディラン）、
設楽洋（株式会社ビームス）、鈴木英敬（三重県知事）、
大坪拓摩（日本デザイン）、樋渡啓祐（元佐賀県武雄市長）



※松任谷氏・ハービー氏・小宮山氏は、BS フジ「小山薫堂 東京会議」より

※審査の様子：(5/16(土)23 時～放送) <https://www.bsfuji.tv/tokyokaigi/>

(4) 基本方針

「小さな応援運動」をここから起こす。

- ・小さな応援も、大きな応援も価値は等しいという前提で、「小さな応援」を応援したい。
- ・何か応援したいけど何をしたらよいか分からないという人が、その「何か」に出逢うきっかけを提供したい。
- ・応援してほしい人と応援したい人の善意をつなげたい。
- ・手が届く、声が届く関係の、大事さを考えたい。
- ・「明日のタネ」を探す場にしたい。
- ・この世に存在する人誰しものが、誰かに応援されているという温かさを伝えたい。

(5) 「コロナと闘う応援村」具体的取組（予定）

① Facebook Japan 株式会社との連携

- ・「Facebook/Instagram 情報発信セミナー（オンライン）」〔5月22日（金）20:00〕

自治体職員向けに、Facebook や Instagram の基本的な運用ルールから、新型コロナウイルス対策まで（支援マッチング機能、地域内生産者・加工業者・飲食店関係者等への支援に役立つ機能など）をお伝えするオンライン講座を開催する。

- ・「Instagram 応援村動画リレー」〔6月以降〕

実行委員や関係者、プロジェクトに賛同する著名人によるリレー動画を公開する。

※Facebook Japan 株式会社との連携については、Facebook Japan 報道資料もご参照ください

(5月18日10時公開)リンク⇒https://about.fb.com/ja/news/2020/05/ouenmura_cooperation

② 株式会社ビームスとの連携

・「コロナと闘う応援村」Tシャツ・ポロシャツ企画〔6月以降〕

ビームス ジャパンプロデュースのTシャツとポロシャツ、また、これらにコーディネートできる手ぬぐいと留め具になる“てぬぐいりんぐ”を応援村事務局が「コロナと闘う応援村」参画自治体に販売します(1県1区17市)。

※1県1区17市：三重県、渋谷区、浜松市、福岡市、熊本市、山形市、南陽市、三条市、南砺市、金沢市、須坂市、大東市、下関市、東かがわ市、久留米市、古賀市、武雄市、別府市、石垣市

③ J-Coin Pay (株式会社みずほ銀行) との連携

・「コロナと闘う応援村」への募金者「福引き」企画の実施 (期間限定)〔7月末以降〕

スマホ決済・送金サービス『J-Coin Pay アプリ*』を使って、応援村への募金受付サービスを開始します。スマホユーザーは J-Coin Pay を使って「自宅にしながら簡単に」「少額から」「メッセージ (想い) を添えて」募金することが可能となります**。

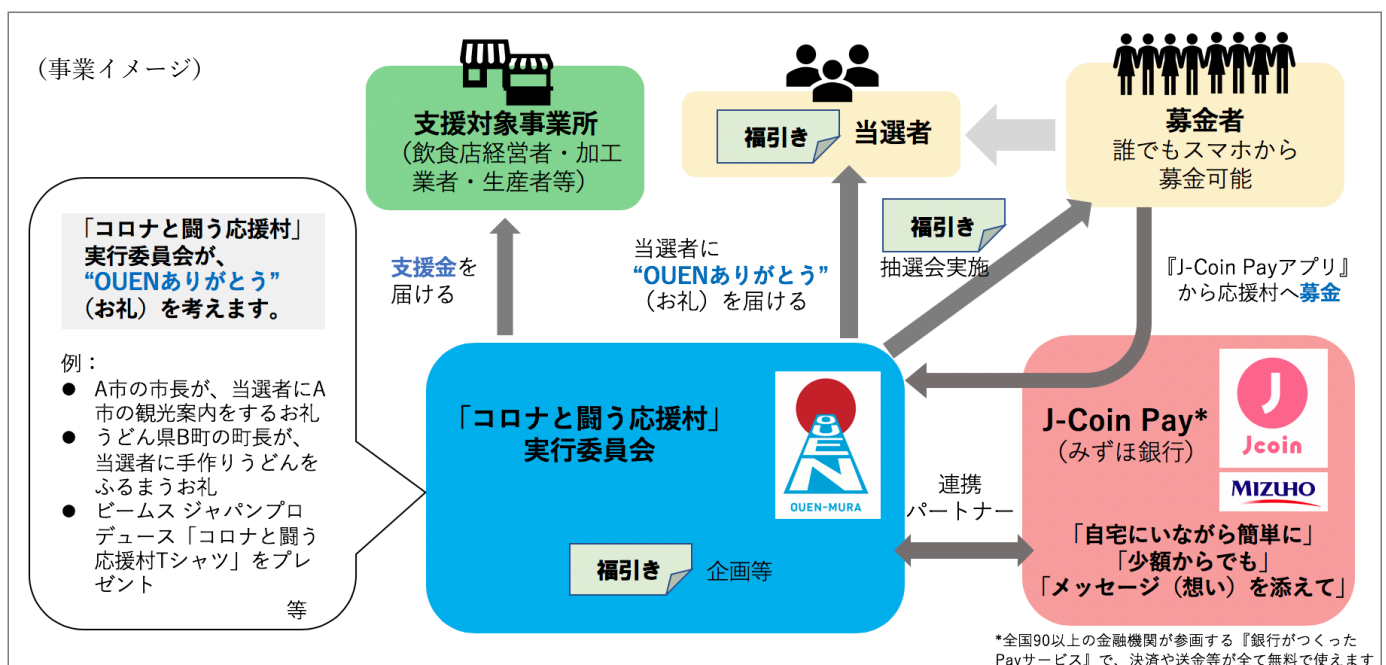
募金は全て応援村から支援対象事業所 (参画自治体内の飲食店経営者・加工業者・生産者等) への支援、その他「コロナと闘う応援村」の取組に充てます。コロナと闘う応援村へ募金した人の中から、福引き当選者に応援村実行委員及び関係者による心のこもった「OUEN ありがとう (お礼)」をプレゼントいたします。

*全国 90 以上の金融機関が参画する『銀行がつくった Pay サービス』で、決済や送金が全て無料で使えます。

**J-Coin Pay の募金機能は、7月末のリリースを予定している、現在開発中のサービスです。

※「OUEN ありがとう (お礼)」の一例：

- ・ A 市の市長が、当選者に A 市の観光案内をするお礼
- ・ うどん県 B 町の町長が、当選者に手作りうどんをふるまうお礼
- ・ ビームス ジャパンプロデュース「コロナと闘う応援村」Tシャツのプレゼント 等



(6) スケジュール

- 5/18 (月) 実行委員名簿・新ロゴマーク・具体的取組発表、新応援村ホームページ公開
- 5/22 (金) 20時 「Facebook/Instagram 情報発信セミナー (オンライン)」
- 6月以降 ビームス ジャパンプロデュース「コロナと闘う応援村」Tシャツ・ポロシャツ発表
- 6月以降 「Instagram 応援村動画リレー」公開
- 7月末以降 「コロナと闘う応援村」への募金者「福引き」企画の実施 (期間限定)

※スケジュールについては変更となる場合があります (HP 等でお知らせいたします)。

(7) 参考

- ・新 応援村ガイドライン (第三章・第五章) 【別紙 3】
- ・新 応援村ホームページ <https://ouen-mura.homes/>
- ・「コロナと闘う応援村」Facebook <https://www.facebook.com/ouenmura.corona/>
- ・BS フジ『小山薫堂 東京会議』
「応援村キックオフ編 (前編)」放送: 5/2(土)23:05~/再放送 5/9(土)23:05~
「応援村ロゴマーク 審査編 (後編)」放送: 5/16(土)23:00~/再放送 5/23(土)23:00~
<https://www.bsfuji.tv/vod/koyama.html> (左記サイトから動画視聴できます)